

全道立学校に生理用品配置へ!

令和5年
第1回定例道議会
一般質問

～現役高校生の要望がおおこしの質問で実現～



おおこしは2月27日、第1回定例道議会本会議において今期最後の一般質問に立ち、全ての児童生徒にいつでも生理用品が手に取れる環境の必要性を訴えました。

教育長から、「新年度から道立学校全256校の女子トイレに生理用品を設置する」と、大きく踏み込んだ答弁を引き出しました。

昨年、現役女子高校生から生理用品設置の要望を受け、文教委員会で長い間取り組んできたことが実を結びました。

大きく報道されました!▶

全道立校に生理用品配置
新年度から道教委 256校 女子トイレに
道教委の倉本博史教育長 きなかつたり、急ぎよ必要
は27日の道議会一般質問 になつたりした生徒に二
で、新年度から道立学校全 スがある判断した。 道
256校の女子トイレに生 道教委は1月中旬から2
理用品を配置することを明 月下旬まで、札幌や苫小牧
アンケートを行った。
約450人が回答した生
徒向けのアンケートは、急
に生理が始まるなどして生
理用品が手元になく困った
経験がある生徒は約8割に
上った。設置された生理用
品を実際に使ったのは17
1人で、全員が「また利用
したい」と答えたという。

鈴木直道知事に予算申し入れ

要望内容が
多数反映!

道議会自民党は1月27日、道の令和5年度予算編成を前に、鈴木知事に対して申し入れを行い、おおこしは政調会筆頭副会長として参加、進行役を務めました。

鈴木知事は「申し入れを真摯に受け止め、予算編成に臨みたい」と応じ、多数の要望内容が反映されました。



新年度予算

- 物価高騰の影響を受ける事業者への専門家派遣 **1億4697万円**
- ゼロカーボンに取り組む事業者への貸付金 **3043億9300万円**
- 子供の一時預かり、放課後児童クラブ運営支援 **22億9977万円**

おおこしあつこ 4年間の取り組み

おおこしの質問で「どさんこ愛食 食べきり運動」を全道展開!

世界には食糧不足で苦しんでいる人が大勢いる一方で、日本ではまだ食べられる食品が大量に廃棄されています。



▲海外の食品ロス対策を調査

「食品ロス」問題に対しておおこしが知事に質問したことで、「どさんこ愛食食べきり運動」が開始され、今や全道キャンペーンとして広がりを見せました。



いじめ対策の強化、早期発見の仕組みづくりを提案、実現へ!

旭川で起きたいじめ事件をはじめとする、いじめ問題の深刻化を受け、おおこしは文教委員会で道教委を厳しく追及しました。

深刻化したいじめに対する対応として弁護士などの専門家を道教委から市町村へ派遣する「緊急支援チーム」の創設を実現しました。また、早期発見のツールとして児童生徒の相談窓口「おなやみポスト」を開設し、実効性ある運営を後押ししました。



新型コロナウイルス対策の実効性を知事に質す!

令和2年6月の本会議で、当時の特措法の不備を指摘し、罰則規定の必要性と十分な支援金が必要であると訴えました。

鈴木知事からは、罰則規定の趣旨に対し賛同するとともに、協力いただいている事業者に必要な支援が必要であること、「ワンストップ窓口」の開設など、大きく踏み込んだ答弁を引き出しました。

休業要請に罰則規定 知事会提言
鈴木知事「趣旨は賛同」
鈴木直道知事は11日の道議会本会議で、全国知事会に代わり、新型コロナウイルス対策として休業要請に罰則規定を設けるべきことを提言した。知事は「私利私欲は関係小限らず、(休業)罰則も設けた方が必要」とも述べた。



◀本会議場で鈴木知事と質疑応答を行う